

10代のための本棚

てい〜んず情報誌Vol.34

墨田区立図書館 2021年1月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

パスファインダーを使ってみよう!

授業や宿題などで「このことについて調べたいけれど、調べ方がわからない!」といったことはありませんか?そんなとき役に立つのが【パスファインダー(Pathfinder)】です。

パスファインダーとは、図書館で調べものをするときに役に立つ資料や、調べ方の手順をまとめた手引きのことです。

墨田区立図書館ではいろいろなテーマでパスファインダーを作成しています。各図書館・コミュニティ会館図書室に置いてあるほか、墨田区立図書館のホームページにも掲載されていますので、ぜひ使ってみて下さいね♪

こんなテーマがあります!

食育

動画配信

百人一首

筋トレ

手紙の書き方

ウイルス

etc.

パスファインダーは、毎月発行しています。「このことが調べたい」、「あのテーマがあったら便利」など作って欲しいテーマがあったら教えてください!

たくさんのご応募、おかげさうございました!

中学生・高校生のためのPOPコンテスト2020

図書館でいう【POP(ポップ)】とは、オススメしたい本を紹介するためのメッセージカードのことです。墨田区立図書館では、毎年、中学生・高校生を対象とした【POPコンテスト】を開催しています。今年も、区内の中高校生から982作品も力作の応募があり、受賞作品が決定しました。

よみもの部門

小説やノンフィクションなど自分の好きな本を、同年代(中学生・高校生)のみんなに紹介する部門です。

特選

桜堤中学校3年 田辺 この実 さん



受賞者コメント
本屋さんに行ったとき「本屋大賞」として並んでいたのが目に入り、選びました。主人公ふたりのすれちがいやトラブルをハラハラしながらも楽しむことができます。表紙がイラストなどではなく写真だったので、それを色えんぴつで再現するのに苦労しました。

準特選

桜堤中学校3年 岡部 友香 さん



受賞者コメント
この本はファンタジー要素を含んでいますが、主人公と自分を照らし合わせながら読むことができ、読み終わった後には勇気づけられる作品です。いろいろな感情がたまっている作品だと思ったので、カラフルな色でそれを表現しました。

絵本部門

小さいころに読んで心に残っている絵本を、これから本を読み始める子供たちに紹介する部門です。(今年度、初めて開催しました。)

特選

桜堤中学校3年 佐藤 怜奈 さん



受賞者コメント
小さい頃からずっとあきやまたださんの本やアニメが好きでした。この本は、ひとりでも友人や家族と一緒に読んでも楽しめる、とても素敵な本です。小さい子が遠くからでも分かるような、パキッとした色づかいをするよう心がけました。

準特選

本所中学校3年 草薙 望桜 さん



受賞者コメント
ひとつのりんごから広がる独自の世界観が大好きで、もっと多くの人に魅力を伝えたいと思い、この本を選びました。限られたスペースの中でりんごの皮の模様や中の構造をどう表現するのがかかえるのが、一番楽しくて一番大変でした。

このほかの受賞作品は、墨田区立図書館ウェブサイトでご覧いただけます。応募作品は、墨田区立図書館・コミュニティ会館図書室や学校図書館で、本の紹介に使用させていただきます。



SNS暴力—なぜ人は匿名の刃をふるうのか—

毎日新聞取材班／著 毎日新聞社 2020.9
TwitterやFacebookなどのSNSは、便利で楽しいツールですが、使い方を間違えると炎上や誹謗中傷を招く危険があります。なぜ人は誹謗中傷を行ってしまうのでしょうか。安全にSNSを使うには、どんなことに注意したらよいのでしょうか。この本を読んで考えてみましょう。



雨のち、シュークリーム

天音美里／著 小学館 2020.9
高校生の陽平は、亡き母に代わり父と弟・朋樹のご飯を作る料理男子。彼女の希歩は、心の病気を患う母に悩みながらも笑顔を絶やさない。互いを支えあう仲良しカップルの2人だったが、弟の朋樹が希歩に恋をして！？思い出の料理と家族愛、兄弟愛が溢れる心温まる物語です。



死について考える本

メリー＝エレン・ウィルコックス／作
おおつかのりこ／訳 あかね書房 2020.9
誰もが最後に迎える「死」。「死」とはいったいなんなのでしょうか。この本は自然科学や世界各国の宗教や文化、神話などの観点から「死」について考える本です。情報量も多く、読み応えのある一冊です。



ヘディングはおもに頭で

西崎憲／著 KADOKAWA 2020.10
大学浪人中の“おん”は、進まない勉強とアルバイトの日々を送っていた。そんな時フットサルと出会い、魔法使いのようにボールを操りリフティングする姿に憧れ、どんどんのめり込んでいく。不安や葛藤、達成感が主人公の息づかいと共に感じられます。



こころと身体の心理学

山口真美／著 岩波書店 2020.9
金縛りや幽体離脱など脳と身体のアンプバランスから起きる事例を脳科学から検証し、SNSなどで心が疲れてしまうことが多い今、身体も使ってバランスを取るための大切さを心理学的に解説しています。つらい思いを感じている時、読めばきっと答えがあります。



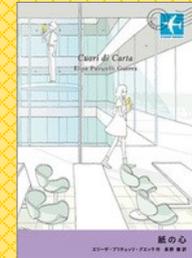
日本SFの臨界点 恋愛篇—死んだ恋人からの手紙—

伴名練／編 早川書房 2020.7
SF作家「伴名練」が編集した、SF小説のアンソロジー。日本のSF小説の中から恋愛要素が多めな作品を9本収録しています。あまりSFを読んだことがない人でも、きっと好きな作品が見つかるはずです！



ニッポンのサイズ—イラストでわかる—

石川英輔／原作 淡交社編集部／編 淡交社 2020.2
計量・計測のための基準を定めた制度を「度量衡（どりょうこう）」と言います。現在は「メートル法」が国際基準ですが、日本には今も一部に残る「尺貫法」という基準がありました。日本人の生活から生まれ根づいていた尺貫法について、楽しく学べます。



紙の心

エリーザ・プリチェッリ・グエッラ／著
長野徹／訳 岩波書店 2020.08
隔離された研究所で暮らすダンとユーナ。図書室の本にユーナが手紙を挟んだところから、二人の文通が始まる。手紙からお互いのことを知るうちに、隠された研究所の秘密に気づく…。二人の手紙だけで進む物語です。

墨田区と牛

令和3年は丑年（うしどし）です。古くから生活や信仰に関わりのある牛。墨田区にも牛にゆかりの史跡があります。

牛嶋神社 向島一丁目4番5号

境内にある「撫牛（なでうし）」の石像には、自分の身体の悪い部分と同じ部分をなでると、病気が治るという信仰があります。また、本殿の左右には狛犬のかわりに一対の「神牛」の石像が奉納されています。

伊藤佐千夫旧居跡 江東橋三丁目13番

伊藤佐千夫は、短歌雑誌「アララギ」や小説『野菊の墓』などで知られる歌人・小説家です。明治22年（1889）現在の錦糸町駅南口広場の場所に居を構え、牧場を設け搾乳業（さくにゅうぎょう）を営みました。現在は、佐千夫の短歌を刻んだ歌碑が立っています。



参考

『すみだの史跡文化財めぐり 改訂版』
墨田区教育委員会生涯学習課／編・発行

知ってる？ 一月の異名

日本では古くから月に異名をつけていました。異名は季節や行事などに由来しており、当時の人々が四季を大事にしていたことが感じられます。

ここでは一月の異名の一部を紹介します。

おつき
睦月

たいげつ
泰月

かげつ
嘉月

げんげつ
元月

はつはるづき
初春月

かすみそめづき
霞染月

他の月にもすてきな異名がたくさんあります。ぜひ調べてみて下さいね。

【参考】

『歳時記のある暮らし』坂東真理子／監修 JTBパブリッシング

日本の暦 第三章暦の中のこぼし 和風月名(わふうげつめい)
(国立国会図書館ホームページ)

<https://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter3/s8.html>